

## 第3学年 算数科年間指導計画 (175時間 ①60 ②80 ③35)

\*は「発展的な学習内容」を含む箇所

★は教育出版のWebサイトに「まなびリンク (デジタルコンテンツ)」がある箇所

月	単元・教材名	学習目標・学習活動	時数	評価規準	関連・系統
4 (10)	●算数をはじめよう！／ひき算のひみつ【2】				
	算数をはじめよう！／算数で使いたい考え方	①②算数の学習の進め方を理解し、問題解決に生かすことができる。 ・「算数をはじめよう！」及び「算数で使いたい考え方」を見て、算数の学習の進め方について話し合う。	1	<b>【知技】</b> ・問題解決の進め方を理解している。(2時間同評価規準)	
	ひき算のヒミツ	・「ひき算のヒミツ」の問題に取り組み、2つの数字を使って2位数-2位数の式を作り、答えになる数のきまりを考える。	1	<b>【思判表】</b> ・答えが同じになる式のきまりについて、筋道を立てて考えたり表現したりしている。 <b>【態】</b> 単元全体を通じて評価する。 ・問いをもち、主体的に考えたり友だちの考えから学び合おうとしたりするとともに、解決の過程や結果を振り返り、よりよい方法を考えたり新たな問いを見いだそうとしていたりしている。	
1	かけ算のきまり【9】 ※ +1  (0のかけ算)	①0の乗法を理解する。 ・「とく点は何点かな？」の活動をきっかけに、点取りゲームの合計の得点を求めることに興味をもつ。 ・ $3 \times 0$ や $0 \times 5$ のような、0の乗法の意味を知る。	1	<b>【知技】</b> ・乗数や被乗数が0の乗法の意味や計算のしかたを理解している。 <b>【態】</b> 単元全体を通じて評価する。 ・乗法に関して成り立つ性質に関心をもち、主体的に調べたり用いたりしようとしている。	2年 13 九九の表  3年 3 わり算 10 かけ算の筆算 15 2けたの数のかけ算
	(かけ算のきまり)	②乗数と積の関係、乗法の交換法則を理解する。★ ・7の段の答えの並び方を調べるとおして、乗数と積の関係についてまとめる。 ・ $7 \times 6$ と同じ答えになる九九を探すことをとおして、乗法の交換法則についてまとめる。	1	<b>【知技】</b> ・乗数と積の関係や、乗法の交換法則の意味や用い方を理解している。 <b>【思判表】</b> ・乗法の交換法則、結合法則、分配法則など、計算に関して成り立つ性質を、式と図を関連づけながら見いだしている。(②③が同評価規準)	4年 8 式と計算
		③乗法の分配法則を理解する。 ・ $7 \times 6$ の乗法の答えの求め方をアレイ図を用いて考えることをとおして、乗法の分配法則についてまとめる。	1	<b>【知技】</b> ・分配法則の意味や用い方を理解している。	★まなびリンク シミュレーション「九九の表ツール」
		④乗法に関して成り立つ性質をもとに、2位数と1位数との乗法の計算のしかたを考えることができる。 ・乗法に関して成り立つ性質などを用いて、 $13 \times 4$ の答えの求め方を考える。	1	<b>【思判表】</b> ・乗法に関して成り立つ性質を活用して、10を超える乗法の答えの求め方を考えている。	

5 (15)	(何十、何百のかけ算)	⑤何十×何、何百×何の乗法の計算のしかたを理解する。 ・ $20 \times 3$ 、 $200 \times 3$ のような、何十×何、何百×何の乗法の計算のしかたを10や100をもとにして考える。	1	<b>【知技】</b> ・何十×何、何百×何の乗法の計算ができる。 <b>【思判表】</b> ・何十×何、何百×何の乗法の計算のしかたを、10や100をもとにして考えている。	
	(3つの数のかけ算)	⑥乗法の結合法則を理解する。 ・箱入りのドーナツの代金の求め方を3口の乗法の式に表すことをとおして、乗法の結合法則についてまとめる。	1	<b>【知技】</b> ・乗法の結合法則の意味や用い方を理解している。	
	(かけ算を使って)	⑦積から乗数や被乗数を見つけることができる。(除法の素地) ・ $6 \times \square = 24$ 、 $\square \times 3 = 15$ の□にあてはまる数の求め方を考える。	1	<b>【知技】</b> ・乗数(被乗数)と積から、被乗数(乗数)を求めることができる。	
	まとめ	⑧⑨学習内容の理解を確認し、確実に身につける。 ・単元のまとめをする。 [九九の表を広げよう] ・乘法に関して成り立つ性質などを用いて、九九表を $0 \times 0$ から $13 \times 13$ まで拡張する。	2	<b>【知技】</b> ・学習内容を理解し、基本的な問題を解決することができる。 <b>【思判表】</b> ・「かけ算のきまり」の学習のよさや見方・考え方を振り返っている。	
2 時こくと時間 【7】※ +1	(短い時間の単位)	①ある時刻からある時間経過した時刻を計算で求めることができる。★ ・「町たんけんの計画を立てよう！」の活動をきっかけに、時刻と時間の学習を振り返る。 ・午前8時50分から30分たった時刻や午前10時20分から50分たった時刻のような、ある時刻からある時間経過した時刻の求め方を図を用いて考える。  [友だちのノートを見てみよう] ・教科書のノート例や友だちのノートを見て、ノートの書き方の工夫について話し合う。	1	<b>【知技】</b> ・ある時刻から一定時間後の時刻を求めることができる。 <b>【態】</b> 単元全体を通じて評価する。 ・時刻と時間の求め方を主体的に考えたり、生活や学習に活用したりしようとしている。 <b>【思判表】</b> ・時計の文字盤や数直線などを用いて、時刻や時間の求め方を考えている。(①～③が同評価規準)	★まなびリンク シミュレーション「時計ツール」  1年 3 いまなんじ 16 なんじなんぶん
		②ある時刻からある時間前の時刻を計算で求めることができる。 ・午前10時10分の45分前のような、ある時刻よりある時間前の時刻の求め方を図を用いて考える。	1	<b>【知技】</b> ・ある時刻から一定時間前の時刻を求めることができる。	
		③時間と時間の和や、時刻と時刻の間の時間を計算で求めることができる。 ・45分間と30分間を合わせた時間のような、時間と時間の和の求め方を図を用いて考える。 ・午前8時50分と午前11時20分の間の時間のような、時刻と時刻の間の時間の求め方を図を用いて考える。	1	<b>【知技】</b> ・時間を求めることができる。	
		④時間の単位「秒」と単位の関係を理解する。 ・1分より短い時間を表す単位「秒」を知り、1分=60秒を知る。	1	<b>【知技】</b> ・時間の単位「秒」について知り、1分=60秒の関係を理解している。	

<p>学んだことを使おう</p>	<p>⑤時刻や時間の計算を活用して、条件に合った計画を立てることができる。 ・「遊園地の計画を立てよう！」という目的意識から、遊園地の場面絵に示された乗車時間を用いて、条件に合う計画を立てる。</p>	<p>1</p>	<p><b>【思判表】</b> ・日常生活の場面で、必要な時刻や時間の求め方を考えたり、条件に合う計画を適切に判断したりしている。</p>	
<p>まとめ</p>	<p>⑥⑦学習内容の理解を確認し、確実に身につける。★ ・単元のまとめをする。</p>	<p>2</p>	<p><b>【知技】</b> ・学習内容を理解し、基本的な問題を解決することができる。 <b>【思判表】</b> ・「時ごとと時間」の学習のよさや見方・考え方を振り返っている。</p>	<p>★まなびリンク 資料「時と時計について学ぶページ（日本時計協会）」</p>
<p>◎ふくしゅう① 【1】 ※ +1</p>	<p>・第2学年「図をつかって考えよう」「1を分けて」の復習をする。 ・単元3「たし算とひき算」に関わる既習事項を確認する。</p>	<p>1</p>		
<p>3 たし算とひき算 【13】※ +1  たし算</p>	<p>①3位数+3位数で百の位に繰り上がりのない加法の計算のしかたを理解し、筆算ができる。 ・「牛にゅうパックは何まいかな？」の活動をきっかけに、場面絵を見て既習の計算を振り返るとともに、未習の問題に取り組むことに興味をもつ。 ・<math>318+225</math>のような、3位数+3位数の加法の計算のしかたを考え、筆算のしかたをまとめる。</p>	<p>1</p>	<p><b>【知技】</b> ・3位数の加法の計算が、2位数などについての基本的な計算をもとにしてできることを理解し、百の位に繰り上がりのない3位数の加法の筆算ができる。 <b>【態】</b> 単元全体を通じて評価する。 ・加法及び減法の計算のしかたについて、既習の計算などをもとに主体的に考えたり、加法及び減法を生活や学習に活用しようとしていたりしている。 <b>【思判表】</b> ・3位数や4位数の加法の計算のしかたを、既習の計算や十進位取り記数法による数の表し方などをもとに図や式などを用いて考えている。(①～③が同評価規準)</p>	<p>2年 7 たし算とひき算  15 1000 より大きい数  4年 1 大きな数</p>
	<p>②3位数+3位数で百の位に繰り上がる加法の計算ができる。 ・<math>482+164</math>のような、百の位へ繰り上がる加法の計算、<math>327+376</math>のような、十の位への繰り上がりか波及的に百の位へ繰り上がる加法の計算のしかたを考える。</p>	<p>1</p>	<p><b>【知技】</b> ・百の位へ繰り上がる3位数の加法の筆算ができる。</p>	
	<p>③3位数+3位数で千の位に繰り上がる加法の計算や、4位数+4位数の加法の計算ができる。 ・<math>823+435</math>のような、千の位に繰り上がる加法の計算のしかたを考える。 ・<math>3264+4358</math>のような、4位数+4位数の加法の計算のしかたを考える。</p>	<p>1</p>	<p><b>【知技】</b> ・千の位に繰り上がる3位数の加法や、4位数+4位数の加法の筆算ができる。</p>	

6 (20)	ひき算	④3 位数-3 位数で百の位から繰り下がりのない減法の計算のしかたを理解し、筆算ができる。 ・352-214 のような、3 位数-3 位数の減法の計算のしかたを考え、筆算のしかたをまとめる。	1	<b>【知技】</b> ・3 位数の減法の計算が 2 位数などについての基本的な計算をもとにしてできることを理解し、百の位に繰り下がりのない 3 位数の減法の筆算ができる。 <b>【思判表】</b> ・3 位数や 4 位数の減法の計算のしかたを、既習の計算や十進位取り記数法による数の表し方などをもとに図や式などを用いて考えている。(④~⑦が同評価規準)
		⑤3 位数-3 位数で百の位から繰り下がる減法の計算ができる。 ・637-285 や 927-789 のような、百の位から繰り下がる減法の計算のしかたを考える。	1	<b>【知技】</b> ・百の位から繰り下がる 3 位数の減法の筆算ができる。
		⑥波動的に繰り下がる減法の計算のしかたを理解する。 ・304-128 や 1000-347 のような、一の位の計算をするときに波動的に繰り下がる減法の計算のしかたを考える。	1	<b>【知技】</b> ・波動的に繰り下がる減法の筆算ができる。
		⑦4 位数-3 位数の減法の計算や、4 位数-4 位数の減法の計算ができる。 ・1267-534 のような、千の位から繰り下がる減法の計算のしかたを考える。 ・3972-1368 のような、4 位数-4 位数の減法の計算のしかたを考える。	1	<b>【知技】</b> ・千の位から繰り下がる 3 位数の減法や、4 位数-4 位数の減法の筆算ができる。
	(たし算とひき算の暗算)	⑧加法と減法の暗算ができる。 ・58+23 のような、2 位数どうしの加法の暗算のしかたを考える。 ・46-17 のような、2 位数どうしの減法の暗算のしかたを考える。	1	<b>【知技】</b> ・2 位数どうしの加法と減法の暗算ができる。
	(計算のくふう)	⑨加法や減法の性質を用いて、工夫して計算するしかたを考えることができる。 ・320+298 を 320+300 とみて計算してから答えを調整する方法について考える。 ・1000-312 を 999-312 とみて計算してから答えを調整する方法について考える。	1	<b>【知技】</b> ・加法や減法で、計算のしやすい数値に直して、工夫して計算することができる。 <b>【思判表】</b> ・加法及び減法に関して成り立つ性質を活用して、計算を工夫している。(⑨⑩が同評価規準)
		⑩3 口の加法の場面で、結合法則を用いて工夫して計算することができる。 ・386+67+33 のような、計算の順番を変えるときりのよい数値になる加法について、結合法則を用いて工夫して計算する。  [3 つの数の筆算] ・359+836+147 のような 3 口の加法も、筆算でできることを知る。	1	<b>【知技】</b> ・加法の結合法則を用いて、工夫して計算することができる。
	学んだことを使おう	⑪日常生活の場面と関連づけて、加法や減法の計算を活用することができる。 ・「おこづかい帳をつけよう！」という目的意識から、3 位数どうしの加減計算を活用して、おこづかい帳の空欄にあてはまる金額を求める式を考えたり、残りの金額から誕生日プレゼントの買い方を考えたりする。	1	<b>【思判表】</b> ・表をよみ取り、空欄にあてはまる数値の求め方を、筋道を立てて考えている。

まとめ	⑫⑬学習内容の理解を確認し、確実に身につける。 ・単元のまとめをする。	2	【知技】 ・学習内容を理解し、基本的な問題を解決することができる。 【思判表】 ・「たし算とひき算」の学習のよさや見方・考え方を振り返っている。	
■まほうじん	①魔方陣の空欄にあてはまる数を、筋道を立てて考えることができる。 ・魔方陣のしくみを知り、空欄にあてはまる数を考える。	1	【思判表】 ・提示された条件をもとに、空欄にあてはまる数値の求め方を、筋道を立てて考えている。	
4 わり算【12】 ※ +1 分けられる数はいくつ	①除法の意味（包含除、除法の式について理解する。 ・「分け方のちがいを考えよう！」の活動をきっかけに、2つの場面絵を比較することで、分け方の違いに関心をもつ。 ・12個を4個ずつに分けると3つに分けられる場面を表すことをとおして、除法（包含除）の意味と式、「わり算」の意味を知る。	1	【知技】 ・包含除の場合について、除法の意味や式の表し方を理解している。 【態】単元全体を通じて評価する。 ・除法の意味や計算のしかたについて、乗法や減法と関連づけながら主体的に考えたり、除法を生活や学習に活用しようとしていたりしている。 【思判表】 ・除法が用いられる場面を具体物や図などを用いて表現するとともに、除法と乗法や減法との関係などに着目して計算のしかたを考えている。①～⑥が同評価規準	2年 10 かけ算 11 かけ算九九づくり 13 九九の表 3年 1 かけ算のきまり 7 あまりのあるわり算 4年 2 わり算の筆算 5 2けたの数のわり算 15 小数と整数のかけ算、わり算
	②除法（包含除）の答えの求め方を理解する。 ・24個のビー玉を6個ずつに分ける場面で、包含除の場合の答えの求め方を考える。	1	【知技】 ・除法（包含除）と乗法との関係について理解し、除法の答えを求めることができる。	
1人分はいくつ	③除法の意味（等分除）を理解する。 ・12個を4人で同じ数ずつ分けると1人分は3個になる場面を表すことをとおして、除法（等分除）の意味と式を知る。	1	【知技】 ・等分除の場合について、除法の意味や式の表し方を理解している。	
	④除法（等分除）の答えの求め方を理解する。 ・24個のいちごを6人で同じ数ずつに分ける場面で、等分除の場合の答えの求め方を考える。	1	【知技】 ・除法（等分除）と乗法との関係について理解し、除法の答えを求めることができる。	
(2つの分け方)	⑤包含除と等分除を統合的に理解する。 ・ $8 \div 2$ の式になる包含除の問題と等分除の問題を作り、それぞれ答えの求め方を図や式に表して比較する。	1	【知技】 ・除法が用いられる場合や、除法と乗法との関係について理解し、除数と商が1位数の除法の計算ができる。	

		⑥包含除と等分除の場面について、それぞれテープ図に表して理解を深める。 ・連続量になる場面で、 $20 \div 4$ の式になる包含除の問題と等分除の問題を作り、それぞれ答えの求め方をテープ図に表して比較する。	1	<b>【知技】</b> ・除法が用いられる場面の数量の関係を、図に表すことができる。	
	(0や1のわり算)	⑦0や1の除法の意味を理解する。 ・6個、3個、0個のドーナツをそれぞれ3人で分けたときの数を求めることをとおして、被除数が0や、商が1になる除法の意味を知る。 ・除数が1の除法の意味を知る。	1	<b>【知技】</b> ・0をわる場合や1でわる場合の除法の意味や計算のしかたを理解している。	
	(倍の計算)	⑧何倍かを求めるのに除法を用いることを理解する。 ・3cmの7倍の長さを求めるのに乗法を用いることを振り返る。 ・18cmが3cmの何倍かを求めることをとおして、何倍かを求めるのに除法を用いることを知る。	1	<b>【知技】</b> ・ある数をもとにする数の何倍かを求めるには、除法を用いることを理解している。 <b>【思判表】</b> ・何倍かを求めるしかたを、図や式などを用いて考えている。	
	(答えが2けたになるわり算)	⑨何十 $\div$ 1位数の除法の計算のしかたを理解する。 ・ $60 \div 3$ のような、何十 $\div$ 1位数の除法の計算のしかたを10をもとにして考える。	1	<b>【知技】</b> ・何十 $\div$ 1位数の除法の計算ができる。 <b>【思判表】</b> ・簡単な場合について、除数が1位数で商が2位数の除法の計算のしかたを、既習の計算をもとにして考えている。(⑨⑩が同評価規準)	
		⑩位ごとによりきれる2位数 $\div$ 1位数の除法の計算のしかたを理解する。 ・ $69 \div 3$ のような、2位数 $\div$ 1位数 $=$ 2位数の除法の計算のしかたを位ごとに分けて考える。	1	<b>【知技】</b> ・簡単な場合の2位数 $\div$ 1位数 $=$ 2位数の除法の計算ができる。	
	まとめ	⑪⑫学習内容の理解を確認し、確実に身につける。 ・単元のまとめをする。	2	<b>【知技】</b> ・学習内容を理解し、基本的な問題を解決することができる。 <b>【思判表】</b> ・「わり算」の学習のよさや見方・考え方を振り返っている。	
7 (15)	5 長さ【5】 (まきじゃく)	①②巻尺の機能と使い方を理解し、身のまわりのものの長さを巻尺で測定することができる。★ ・「長さを予想してはかろう！」の活動をきっかけに、教室にあるものの長さを測ることをとおして、30cmものさしや1mものさしでは測りにくい長さに関心をもつ。 ・巻尺のしくみ、巻尺を使った測定のしかたや有用性を知る。 ・身のまわりのものの長さを予想してから、巻尺を使って測る。	2	<b>【知技】</b> ・巻尺の機能や目盛りのしくみを理解し、目的に応じて巻尺を用いて長さを測定することができる。 <b>【態】</b> 単元全体を通じて評価する。 ・長さの測定に主体的に取り組み、生活や学習に活用しようとしている。 <b>【思判表】</b> ・測定するものの特徴に着目し、ものさしでは測りにくいところの長さの測り方を考えている。	★まなびリンク 動画「長さのはかり方(右きき)(左きき)」 <b>【2年】</b> 5 長さ 12 長いものの長さ <b>【3年】</b> 11 重さ <b>【4年】</b> 9 面積

(道のりときょり)	③道のりと距離の意味、長さの単位「km」と単位の関係を理解する。 ・絵地図から長さを求めることをとおして、長さの単位「キロメートル(km)」を知り、1km=1000mを知る。 ・道のりと距離の意味を知る。	1	<b>【知技】</b> ・道のりと距離の意味、長さの単位「km」を知り、1km=1000mの関係を理解している。	
学んだことを使おう	④100mや1kmなどの長さを体感し、長さについての感覚を豊かにする。 ・「100mや1kmの感覚」を身につけるという目的意識から、100mや1kmを歩くのにかかる時間や歩数を調べる。	1	<b>【知技】</b> ・長さについての感覚をもち、道のりや距離のおよその見当をつけることができる。	
まとめ	⑤学習内容の理解を確認し、確実に身につける。 ・単元のまとめをする。  [東京から何軒(キロメートル)?] ・昔の里程標(距離を示した標識)に記されたkmの漢字表記「軒」を知る。	1	<b>【知技】</b> ・学習内容を理解し、基本的な問題を解決することができる。 <b>【思判表】</b> ・「長さ」の学習のよさや見方・考え方を振り返っている。	
6 表とぼうグラフ 【9】 整理のしかた	①資料の分類整理のしかたを理解する。 ・「乗り物が通る様子を調べよう！」の活動をきっかけに、学校の前の道を通る乗り物の種類や数の記録のしかたに関心をもつ。 ・学校の前の交通量を調べる活動をおとて、落ちや重なりがなく、項目ごとに分類整理するしかたを考える。 ・データを一次元表に整理する。	1	<b>【知技】</b> ・落ちや重なりがなく項目ごとに分類整理するしかたや、「その他」の意味を理解している。 <b>【態】</b> 単元全体を通じて評価する。 ・データを分かりやすく整理し表や棒グラフに表したり、見いだしたことを表現したりすることについて、目的意識をもって主体的に取り組んでいる。 <b>【思判表】</b> ・データを分類整理する観点を定め、落ちや重なりがないように調べたり合計欄をもとに確かめたりするなど、誤りの起きにくい方法を工夫している。	2年 1 表とグラフ  4年 3 折れ線グラフ 10 整理のしかた
ぼうグラフ	②棒グラフのよみ方を理解する。 ・数量の大きさを表すグラフとして、棒グラフのよみ方を知る。 ・棒グラフでは、数量の大きい順に並べて表す場合があることを知る。	1	<b>【知技】</b> ・棒グラフで表すと、数量の大小や差などが捉えやすくなることなど、棒グラフの特徴を理解し、よみ取ることができる。 <b>【思判表】</b> ・棒グラフの項目間の関係や1目盛りの大きさなどに着目し、数量の大小や集団のもつ全体的な特徴などを考察している。(②③が同評価規準)	

	<p>③棒グラフのいろいろな表し方を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>棒グラフでは、順序性があるものは順序どおりに並べることを知る。</li> <li>棒が横向きの場合や、1目盛りの大きさが1でない場合の棒グラフをよみとる。</li> </ul>	1	<p><b>【知技】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1目盛りの大きさに着目して、棒グラフをよむことができる。</li> </ul>	
(ぼうグラフのかき方)	<p>④棒グラフのかき方を理解する。★</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校で起こったけが調べのデータを棒グラフに表すことをとおして、棒グラフのかき方を知る。</li> </ul>	1	<p><b>【知技】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>棒グラフのかき方を理解し、表すことができる。</li> </ul> <p><b>【思判表】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>棒グラフをかくときに、グラフ用紙の目盛りのつけ方や項目の並べ方などを考えている。(④～⑥が同評価規準)</li> </ul>	★まなびリンク シミュレーション「ぼうグラフツール」
	<p>⑤⑥棒グラフに表すときに、目的に合った目盛りのつけ方を考えることができる。★</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1目盛りの大きさが1でない場合の棒グラフをかく。また、同じデータを異なる目盛りのつけ方で表した棒グラフを比較して、目的に合った目盛りのつけ方について考える。</li> </ul>	2	<p><b>【知技】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1目盛りの大きさに着目して、棒グラフに表すことができる。</li> </ul>	★まなびリンク シミュレーション「ぼうグラフツール」
くふうした表	<p>⑦二次元表のよみ方、かき方を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>組ごとの「自由研究調べ」の表を1つの表にまとめることをとおして、二次元表のよみ方、かき方を知る。</li> </ul>	1	<p><b>【知技】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2つの観点からデータを分類整理し、簡単な二次元表に表したりよんだりすることができる。</li> </ul>	
学んだことを使おう	<p>⑧目的に応じて、複数の棒グラフを組み合わせるなど、棒グラフに表すときの工夫のしかたについて考えることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「グラフに表してつたえよう！」という目的意識から、「自由研究調べ」の二次元表と棒グラフをよみとる。また、わかりやすく伝えたいことに応じて、目的に合った棒グラフに作り直す。</li> </ul>	1	<p><b>【知技】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>複数の棒グラフを組み合わせたグラフを表したりよんだりすることができる。</li> </ul> <p><b>【思判表】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>二次元表と棒グラフを関連づけ、目的に合った棒グラフの表し方を工夫して考えるとともに、棒グラフから見いだしたことを表現している。</li> </ul>	
まとめ	<p>⑨学習内容の理解を確認し、確実に身につける。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>単元のまとめをする。</li> </ul> <p>[ぼうグラフを使って]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>読書調べやお手伝い調べのポスターを参考に、棒グラフなどを用いてポスターを作る。</li> </ul>	1	<p><b>【知技】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学習内容を理解し、基本的な問題を解決することができる。</li> </ul> <p><b>【思判表】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「表とぼうグラフ」の学習のよさや見方・考え方を振り返っている。</li> </ul>	
◎ふくしゅう② 【1】 ※ +1	<ul style="list-style-type: none"> <li>「かけ算のきまり」「時こくと時間」「たし算とひき算」の復習をする。</li> <li>単元7「あまりのあるわり算」に関わる既習事項を確認する。</li> </ul>	1		



8 (10)	7 あまりのあるわり算【9】 ※ +1	①あまりのある除法（包含除）の意味、除法の式について理解する。 ・「5 こずつふくろに入れよう！」の活動をきっかけに、既習の除法を振り返るとともに、未習の問題に取り組むことに関心をもつ。 ・17個を5個ずつ分けると3つに分けられて2個あまる場面を表すことをとおして、あまりのある除法（包含除）の意味と式を知る。	1	【知技】 ・あまりのある除法の意味や計算のしかたを理解している。 【態】 単元全体を通じて評価する。 ・除法の計算のしかたや答えの確かめのしかたについて、乗法や減法と関連づけながら主体的に考えたり、除法を生活や学習に活用しようとしていたりしている。 【思判表】 ・あまりのある除法の場面を具体物や図などを用いて表現するとともに、除法と乗法や減法との関係などに着目して計算のしかたを考えている。(①～③が同評価規準)	2年 10 かけ算 11 かけ算のつくり 13 九九の表 3年 1 かけ算のきまり 4 わり算 4年 2 わり算の筆算 5 2けたの数のわり算 15 小数と整数のかかけ算、わり算
		②除法のあまりの大きさを理解する。 ・あめを4個ずつ袋に入れる場面で、あまりはいつも除数より小さくなるようにすることを考える。	1	【知技】 ・除法のあまりの意味や、あまりは除数より小さいことを理解している。	
		③あまりのある除法（等分除）の意味を理解し、除数と商が1位数のあまりのある除法の計算ができる。 ・27個のクッキーを4人で同じ数ずつ分ける場面（等分除）で、1人分が何個になって何個あまるかを求める。	1	【知技】 ・等分除の場合の、あまりのある除法の意味を理解し、除数と商が1位数のあまりのある除法の計算ができる。	
	(答えのたしかめ)	④あまりのある除法の答えの確かめの式を理解し、用いることができる。 ・20個のミニトマトを3個ずつ袋に入れる場面で除数、被除数、あまりの関係を考え、あまりのある除法の答えの確かめの式を知る。	1	【知技】 ・あまりのある除法の答えの確かめの式を理解し、用いることができる。	
	(あまりはどうする)	⑤除法のあまりの処理（あまりを加える場合）について考えることができる。 ・27個のボールを6個ずつ箱に入れるときの箱の数を考える問題で、除法のあまりの処理のしかたを考える。	1	【思判表】 ・具体的な問題場面で、除法のあまりの意味について考え、処理のしかたを考えている。 (⑤⑥が同評価規準)	
		⑥除法のあまりの処理（あまりを除く場合）について考えることができる。 ・幅が22cmの本立てに厚さ3cmの本を入れるときの本の数を考える問題で、除法のあまりの処理のしかたを考える。	1		
	学んだことを使おう	⑦日常生活の場面と関連づけて、あまりのある除法の計算を活用することができる。 ・「〇日は何曜日？」という目的意識から、日曜日はずれも7でわりきれぬ数であることをもとに、ほかの曜日についても調べ、除法のあまりに着目してきまりを説明する。	1	【思判表】 ・カレンダーの曜日について見いだしたきまりを、除法のあまりに着目して説明している。	
まとめ	⑧⑨学習内容の理解を確認し、確実に身につける。 ・単元のまとめをする。	2	【知技】 ・学習内容を理解し、基本的な問題を解決することができる。 【思判表】 ・「あまりのあるわり算」の学習のよさや見方・考え方を振り返っている。		

9 (15)	■なみ木道	①木の本数と間の数の関係の問題(植木算)を、図や式などを用いて筋道を立てて考えることができる。 ・8m おきに 5 本ある植木の端から端までの長さを求める問題について、場面を図に表して考え解決する。 ・6km を歩く間に2回休憩する場合の1度に歩く長さを求める問題について、場面を図に表して考え解決する。	1	【思判表】 ・木の本数と間の数の関係の問題(植木算)を、図や式などを用いて筋道を立てて考えている。	
	◎ふくしゅう③ 【1】 ※ +1	・「長さ」「表とぼうグラフ」「倍の計算」の復習をする。	1		
	8 10000より 大きい数【8】  万の位	①10 万未満の数のよみ方、表し方、5 位数の構成と位取りのしくみ(一万の位)を理解する。 ・「入場けんは何まいかな?」の活動をきっかけに、バスケットボールとサッカーの入場券の枚数を調べる活動をとおして、既習の範囲を超える数を数えたり表したりすることに関心をもつ。 ・5 位数の十進位取り記数法によるよみ方、表し方を知る。 ・一万の位を知る。	1	【知技】 ・一万の位までの数の構成と位取りのしくみを理解し、表すことができる。 【態】単元全体を通じて評価する。 ・既習の数の見方や表し方などをもとに、大きな数のしくみについて主体的に考えたり、万の単位が使われている数を身のまわりから見つけ、その大きさを捉えたりしようとしている。 【思判表】 ・十進位取り記数法のしくみをもとに、千万の位までの数の表し方や比べ方、相対的な大きさを考えている。(①～④が同評価規準)	2年 6 100より 大きい数 15 1000より 大きい数  4年 1 大きな数
		②1 億未満の数のよみ方、表し方、数の構成と位取りのしくみ(十万の位、百万の位、千万の位)を理解する。 ・全国の学校に関する資料に示された数をよむことをとおして、千万の位までの数のよみ方、表し方、数の構成を知る。	1	【知技】 ・千万の位までの数の構成と位取りのしくみを理解し、表すことができる。	
		③数直線をもとに、5 位数の順序について理解する。また、数の相対的な大きさについて理解する。 ・「数直線」の意味を知る。 ・一万の位までの数について、数直線に表された数をよんだり、数直線上に数を表したりする。 ・120000 が 10000 や 1000 のいくつかを考える。	1	【知技】 ・「数直線」の用語を知り、数直線での数の位置、順序、系列を理解している。また、数の相対的な大きさを理解している。	
	④「不等号」「等号」の意味と使い方、1 億未満の数の大小について理解する。 ・「不等号」「等号」の意味を知る。 ・1 億未満の数の大小を不等号、等号を用いて表す。	1	【知技】 ・「不等号」「等号」の意味を知り、千万の位までの数の大小について理解し、不等号や等号を用いて表すことができる。		
	(10 倍の数や 10 で わった数)	⑤10 倍の大きさの数と、その表し方を理解する。 ・20 を 10 倍するといくつになるかを考える。 ・25 を 10 倍するといくつになるかを考え、10 倍の大きさの数の表し方をまとめる。	1	【知技】 ・10 倍の大きさの数と、その表し方を理解している。 【思判表】 ・数のまとまりに着目し、ある数と、10 倍、100 倍、1000 倍、10 でわった大きさの数との関係について考えている。(⑤～⑦が同評価規準)	

	⑥100倍, 1000倍の大きさの数と, その表し方を理解する。 ・25を10倍した数を更に10倍したり, 25を100倍した数を更に10倍したりするといくつになるかを考え, 100倍, 1000倍の大きさの数の表し方をまとめる。	1	<b>【知技】</b> ・100倍, 1000倍の大きさの数と, その表し方を理解している。	
(一億)	⑦10でわった大きさの数と, その表し方を理解する。 1億について理解する。 ・200を10でわるといくつになるかを考え, 10でわった大きさの数の表し方をまとめる。 ・数直線の目盛りが表す数を調べることをとおして, 1億の大きさや, よみ方, 書き方を知る。	1	<b>【知技】</b> ・10でわった大きさの数と, その表し方を理解している。 ・1億のよみ方, 書き方を理解している。	
まとめ	⑧学習内容の理解を確認し, 確実に身につける。 ・単元のまとめをする。	1	<b>【知技】</b> ・学習内容を理解し, 基本的な問題を解決することができる。 <b>【思判表】</b> ・「10000より大きい数」の学習のよさや見方・考え方を振り返っている。	
9 円と球【9】  円	①②円の意味, 性質, 円の中心, 半径を理解する。 ・「どんなならび方をすればいいかな?」の活動をきっかけに, 玉入れの的に対してどのように並ぶと公平になるのかに関心をもつ。 ・的になる点から等距離の点をいくつもかく活動をおして, 円や, 円の中心, 半径を知る。	2	<b>【知技】</b> ・円の意味, 性質, 円の中心, 半径を理解している。 <b>【態】</b> 単元全体を通じて評価する。 ・円の性質を調べたり, コンパスを使って作図したりすることに主体的に取り組むとともに, 身のまわりから円や球を見つけようとして, 円を用いた模様作りなどをとおして円の美しさを感じたりしている。 <b>【思判表】</b> ・円の半径や直径を観察することをとおして, それらの性質を見いだしている。(①~④が同評価規準)	1年 10 かたちあそび  3年 13 三角形  5年 15 正三角形と円
	③円の直径を理解する。 ・円の中心を見つける活動をおして, 円の直径を知る。	1	<b>【知技】</b> ・円の直径の意味や, 直径と半径の関係について理解している。	
	④直径の性質を理解する。 ・円の中にかかれた直線の長さを比べることをとおして, 直径が円の中でいちばん長い直線になることを知る。	1	<b>【知技】</b> ・直径が円の中でいちばん長い直線になることを理解し, その性質をもとに円に外接する正方形や長方形の大きさを求めることができる。	★まなびリンク 動画「長さの写し取り方(右きき)(左きき)」
	⑤コンパスの使い方を理解し, 円を作図ができる。★ ・コンパスを使った円のかき方を知り, コンパスを使って円をかく。	1	<b>【知技】</b> ・コンパスの使い方を理解し, 円を作図することができる。	★まなびリンク 動画「円のかき方(右きき)(左きき)」
	⑥コンパスの機能を理解する。★ ・線の長さを比べることをとおして, コンパスには長さを写し取る機能があることを知る。	1	<b>【知技】</b> ・コンパスには長さを写し取る機能があることを理解し, 線の長さを写し取って比べることができる。	」

10 (20)	球	<p>⑦球の意味、性質、球の中心、半径、直径を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボールなどのさまざまな球の特徴を調べ、球について知る。</li> <li>・球の中心、半径、直径を知り、球の直径の測り方を考える。</li> </ul>	1	<p><b>【知技】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・球の意味、性質、球の中心、半径、直径を理解している。</li> </ul> <p><b>【思判表】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・球を観察したり、球を平面で切ったときにできる円について考察したりすることをおして、それらの性質を見いだしている。</li> </ul>	下巻
	学んだことを使おう	<p>⑧日常生活の場面にコンパスを活用し、その機能と有用性について理解を深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「コンパスで地図を調べよう！」という目的意識から、地図上で、ある地点から1kmの範囲や2地点間のおよその距離などをコンパスを使って調べる。</li> </ul> <p>[くるくるまわすと?]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・紙で作った円の直径に棒を付けて回転させるとどのような形が見えるか調べる。</li> </ul>	1	<p><b>【知技】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コンパスを使って、地図上のある地点から1kmのところや、ある地点間のおよその距離を調べることができる。</li> </ul>	
	まとめ	<p>⑨学習内容の理解を確認し、確実に身につける。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単元のまとめをする。</li> </ul> <p>[オリンピック・パラリンピックで円と球さがし]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オリンピックやパラリンピックに関連するものから円や球の形のものを探す。</li> </ul>	1	<p><b>【知技】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習内容を理解し、基本的な問題を解決することができる。</li> </ul> <p><b>【思判表】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「円と球」の学習のよさや見方・考え方を振り返っている。</li> </ul>	
	●かけ算とわり算の図【2】	<p>①乗法や除法の数直線の見方や用い方を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・15個のいちごを1人に5個ずつ3人に配る場面で、テープ図と式を関連づけて捉え、乗法と除法の数直線の見方を知る。</li> <li>・10円のあめを4個買うときの代金を求める式が<math>10 \times 4</math>になる理由を、数直線を用いて説明する。</li> </ul> <p>②乗法や除法の数直線のかき方や用い方を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1個30円のチョコレートを3個買う場面で、乗法の数直線のかき方を知る。</li> <li>・18個のあめを3人で等分する場面で、除法の数直線のかき方を知る。</li> </ul>	1	<p><b>【態】</b> 単元全体を通じて評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図を用いると場面や数量の関係が捉えやすくなることに気づき生活や学習に活用しようとしている。</li> </ul> <p><b>【思判表】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・乗法と除法の相互関係をもとに、数直線の見方やかき方を考えている。(2時間同評価規準)</li> </ul>	

<p>10 かけ算の筆算 【13】 ※ +1  (2けた×1けたの計算)</p>	<p>①2位数×1位数の乗法の計算のしかたを理解する。 ・「3まいで何円かな？」の活動をきっかけに、20×3の計算のしかたを振り返るとともに、未習の問題に取り組むことに関心をもつ。 ・23×3のような、2位数×1位数=2位数で繰り上がりのない乗法の計算のしかたを考える。(p.16~17の[友だちのノートを見てみよう]も扱う。)</p> <p>[算数のミカタ] ・新しい計算のしかたを考えると、数を分けて、23を20と3という見方をしたことを振り返る。</p>	<p>1</p>	<p><b>【知技】</b> ・2位数×1位数の乗法の計算が、乗法九九などの基本的な計算をもとにしてできることを理解している。 <b>【規】</b> 単元全体を通じて評価する。 ・乗法の計算のしかたについて、既習の計算などをもとに主体的に考えたり、乗法を生活や学習に活用しようとしていたりしている。 <b>【思判表】</b> ・2位数×1位数の乗法の計算のしかたを、既習の計算をもとに図や式などを用いて考えている。(①~④が同評価規準)</p>	<p><b>【2年】</b> 10 かけ算 11 かけ算九九づくり 13 九九の表</p> <p><b>【3年】</b> 1 かけ算のきまり ●かけ算とわり算の図 15 2けたの数のかけ算</p> <p><b>【4年】</b> 1 大きな数 15 小数と整数のかけ算、わり算</p>
<p>(3けた×1けたの計算)</p>	<p>②2位数×1位数の筆算のしかたを理解する。 ・23×3のような、2位数×1位数=2位数で繰り上がりのない乗法の筆算のしかたを考える。</p> <p>③2位数×1位数で十の位に繰り上がる乗法の計算ができる。 ・26×3のような、2位数×1位数=2位数で十の位へ繰り上がるの乗法の計算のしかたを考え、筆算のしかたをまとめる。</p> <p>④2位数×1位数で百の位に繰り上がる乗法の計算や、2位数×1位数で途中の計算に0が出てくる乗法の計算ができる。 ・42×3や65×3や49×7のような、2位数×1位数=3位数の乗法の計算のしかたを考える。 ・63×8や47×5のような、2位数×1位数=3位数で途中の計算に0が出てくる乗法の計算のしかたを考える。</p> <p>⑤3位数×1位数の乗法の計算のしかたを理解し、筆算ができる。 ・312×3のような、3位数×1位数=3位数で繰り上がりのない乗法の計算のしかたを考え、筆算のしかたをまとめる。</p> <p>⑥3位数×1位数の計算で繰り上がりのある乗法の計算ができる。 ・253×3のような、3位数×1位数=3位数で繰り上がりのある乗法の計算のしかたを考える。</p> <p>⑦3位数×1位数で千の位に繰り上がる乗法の計算ができる。 ・423×3のような、3位数×1位数=4位数の乗法の計算のしかたを考える。</p> <p>⑧3位数×1位数=4位数で空位がある乗法の計算ができる。 ・302×8のような、3位数×1位数=4位数で空位がある乗法の計算のしかたを考える。</p>	<p>1 1 1 1 1 1 1 1</p>	<p><b>【知技】</b> ・2位数×1位数の乗法の筆算形式を知り、筆算ができる。</p> <p><b>【知技】</b> ・2位数×1位数で十の位に繰り上がる乗法の筆算ができる。</p> <p><b>【知技】</b> ・2位数×1位数で百の位に繰り上がる乗法や、2位数×1位数で途中の計算に0が出てくる乗法の筆算ができる。</p> <p><b>【知技】</b> ・3位数×1位数の乗法の計算のしかたを理解し、筆算ができる。 <b>【思判表】</b> ・3位数×1位数の乗法の計算のしかたを、被乗数が2位数の場合の計算をもとに図や式などを用いて考えている。(⑤~⑧が同評価規準)</p> <p><b>【知技】</b> ・3位数×1位数の計算で繰り上がりのある乗法の筆算ができる。</p> <p><b>【知技】</b> ・3位数×1位数で千の位に繰り上がる乗法の筆算ができる。</p> <p><b>【知技】</b> ・3位数×1位数=4位数で空位がある乗法の筆算ができる。</p>	

	(倍の計算)	⑨倍にかかわる問題についてテープ図などを用いて数量の関係を捉え、倍概念の理解を深める。 ・図をもとに4cmのテープの3倍の長さを更に2倍した長さが、もとのテープの何倍になるかを考える。	1	<b>【知技】</b> ・ある数をもとにして、それを何倍かした大きさを求めるには、乗法を用いることを理解している。 <b>【思判表】</b> ・倍の問題場面の数量関係について、図や式などを用いて考えている。	
	(かけ算の暗算)	⑩乗法の暗算ができる。 ・23×4のような、2位数×1位数の暗算のしかたを考える。	1	<b>【知技】</b> ・2位数×1位数の乗法の暗算ができる。	
	学んだことを使おう	⑪4位数×1位数の計算のしかたについて、3位数×1位数の乗法などをもとにして、発展的に考えることができる。* ・「かけられる数が4けたになっても…」という目的意識から、4000×3や4312×3のような、4位数×1位数の乗法の計算のしかたを考える。  [友だちのノートを見てみよう] ・教科書のノート例や友だちのノートを見て、ノートの書き方の工夫について話し合う。	1	<b>【思判表】</b> ・4位数×1位数の乗法の計算のしかたを、被乗数が3位数の場合の計算をもとに発展的に考えている。	
	まとめ	⑫⑬学習内容の理解を確認し、確実に身につける。 ・単元のまとめをする。  [かくれた数字] ・2位数×1位数、3位数×1位数の虫食い算に取り組む。	2	<b>【知技】</b> ・学習内容を理解し、基本的な問題を解決することができる。 <b>【思判表】</b> ・「かけ算の筆算」の学習のよさや見方・考え方を振り返っている。	
11 (20)	1 1 重さ【9】 重さくらべ	①②重さの意味、重さの比べ方、重さの単位「g」を理解する。 ・「どちらが重いかな？」の活動をきっかけに、スポンジ、はさみ、電池の重さを比べることに興味をもつ。 ・ものの重さをつみ木を使って比べる活動をとおして、重さの比較・測定のしかたや意味について考える。 ・重さの単位「グラム(g)」を知る。	2	<b>【知技】</b> ・重さの単位「g」と測定の意味を理解している。 <b>【態】</b> 単元全体を通じて評価する。 ・重さの測定に主体的に取り組み、生活や学習に活用しようとしている。また、「m」「c」「k」などの接頭語が、長さや重さなどに共通に用いられていることに気づき、メートル法の単位のしくみを考えようとしている。 <b>【思判表】</b> ・重さの比較や測定について、長さやかさの場合をもとにして、基準とする大きさを決めて数値化するしかたを考えている。	2年 5 長さ 8 水のかさ 12 長いものの長さ  3年 5 長さ  4年 9 面積
	(はかり)	③はかりの機能と使い方を理解する。★ ・ランドセルの重さを量ることをとおして、重さの単位「キログラム(kg)」を知り、1kg=1000gを知る。	1	<b>【知技】</b> ・はかりの目盛りのしくみを理解し、はかりを使って重さを測定することができる。	

	<p>④重さの単位「kg」と単位の間を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ランドセルの重さを量ることをとおして、重さの単位「キログラム(kg)」を知り、<math>1\text{kg}=1000\text{g}</math>を知る。</li> </ul> <p>[算数のミカタ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ものゝ大きさの表し方を考えるとき、もとにする大きさを決めて、そのいくつかという見方をしたことを振り返る。</li> </ul>	1	<p><b>【知技】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・重さの単位「kg」を知り、<math>1\text{kg}=1000\text{g}</math>の関係を理解している。</li> </ul>	★まなびリンク 動画「はかりの使い方」
	<p>⑤身のまわりのものゝ重さについて、およその見当をつけ、測定することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ものゝ重さに合ったはかりを選択して、身のまわりのいろいろなものゝ重さを量る。</li> <li>・本や砂などの具体物を使って、<math>1\text{kg}</math>の重さをつくる。</li> </ul>	1	<p><b>【知技】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身のまわりのものゝ重さについておよその見当をつけ、はかりを使って測定することができる。</li> </ul>	
(はかり方のくふう)	<p>⑥重さについても加法性が成り立つことを理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・かごにのせたボールの重さの求め方を考えることをとおして、重さは加減計算ができることを知る。</li> </ul>	1	<p><b>【知技】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・重さの加法性について理解し、重さの加減計算ができる。</li> </ul>	2年 17 1を分けて
単位のしくみ	<p>⑦接頭語「キロ(k)」「ミリ(m)」の意味を知り、重さ、長さ、かさの単位の間を統一的に理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・重さの単位「トン(t)」を理解する。</li> <li>・今まで学習してきた重さ、長さ、かさの単位を表に整理し、接頭語「k(キロ)」「m(ミリ)」の意味や単位の間について考える。</li> <li>・重さの単位「トン(t)」を知り、<math>1\text{t}=1000\text{kg}</math>を知る。</li> </ul> <p>[いろいろな単位]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・かさの単位「kL」、重さの単位「mg」を知る。</li> </ul>	1	<p><b>【知技】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・重さの単位「t」を知り、<math>1\text{t}=1000\text{kg}</math>の関係を理解している。</li> </ul> <p><b>【思判表】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・重さ、長さ、かさの単位の共通性に気づき、「k(キロ)」「m(ミリ)」などの接頭語が表す倍の関係などに気づき、新しい単位に出合ったときも類推して量の大きさを考えている。</li> </ul>	3年 14 小数 4年 17 分数の大きさとたし算、ひき算 11 小数のしくみとたし算、ひき算
学んだことを使おう	<p>⑧身のまわりのものゝ大きさについての感覚をもち、メートル法の単位のしくみをもとに整理することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「単位の図かんをつくらう！」という目的意識から、いろいろな重さ、長さ、かさのものを見つれたり、適切な計器を使って測定したりして、接頭語に着目して整理してまとめる。</li> </ul>	1	<p><b>【知技】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな重さ、長さ、かさのものを見つれたり測定したりして、メートル法の単位のしくみをもとに整理することができる。</li> </ul>	
まとめ	<p>⑨学習内容の理解を確認し、確実に身につける。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単元のまとめをする。</li> </ul> <p>[重さはかわるかな]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体重計を使って、体勢を変えても重さは変わらないことを体験する。</li> </ul>	1	<p><b>【知技】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習内容を理解し、基本的な問題を解決することができる。</li> </ul> <p><b>【思判表】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「重さ」の学習のよさや見方・考え方を振り返っている。</li> </ul>	
■ 1/2に分けよう	<p>⑩1/2の大きさを方眼のます目の個数に着目して捉えることで、分数についての理解を深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・16個のます目の1/2に色を塗る活動をおして、形は違っても、ます目の個数に着目すると1/2といえる場合があることを知る。</li> </ul>	1	<p><b>【思判表】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・方眼のます目の個数に着目し、1/2の大きさのいろいろな表し方を考えている。</li> </ul>	

	<p>12 分数【10】</p> <p>分数の表し方</p>	<p>①測定したときの量の大きさを表す分数（量分数）について理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「どちらが4等分かな？」の活動をきっかけに、4等分や1/4の意味を振り返り、等分した大きさの表し方に関心をもつ。</li> <li>・もとの長さの1/4と対比し、1mを4等分した1つ分を1/4mということを知る。</li> </ul>	1	<p><b>【知技】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・分率分数と対比して、測定したときの量の大きさを表す分数（量分数）の意味を理解している。</li> </ul> <p><b>【態】</b> 単元全体を通じて評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既習の数の見方や表し方などをもとに、分数の意味と表し方、計算のしかたについて主体的に考えたり、日常生活の場面などで大きさを分数を用いて表したりしようとしている。</li> </ul> <p><b>【思判表】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・量分数、及び単位分数のいくつ分として表す分数の意味や大きさについて、数直線や図に表すなどして考えている。(①～⑤が同評価規準)</li> </ul>	
		<p>②量分数の表し方を理解し、「分母」「分子」の意味を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1mを3等分した2つ分の長さを2/3mということを知り、分数の表し方を知る。</li> <li>・「分母」と「分子」の意味を知る。</li> </ul>	1	<p><b>【知技】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・量分数の表し方を理解し、長さを分数で表すことができる。</li> </ul>	
		<p>③かさを分数で表すことをとおして、量分数の意味と表し方について理解を深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1Lを5等分した3つ分のかさを3/5Lということを知り、分母と分子が表す大きさについてまとめる。</li> </ul>	1	<p><b>【知技】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・分母と分子が表す大きさについて理解を深め、かさを分数で表すことができる。</li> </ul>	
		<p>④単位分数をもとにした分数の大きさを理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1/5, 2/5, ...を数直線上に表すことをとおして、分母と分子が同じ数のときは1になることを知る。</li> </ul>	1	<p><b>【知技】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単位分数をもとにした分数の意味と大きさを理解し、分母と分子が同じ数のときは1になることを理解している。</li> </ul>	
		<p>⑤同分母の分数の大小について理解する。また、1より大きい分数があることを理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・7/10と8/10のような、同分母の分数の大小を比べる。</li> <li>・1/10の11個分、12個分の大きさを11/10, 12/10ということを知る。</li> </ul>	1	<p><b>【知技】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・同分母の分数の大小について理解している。また、1より大きい分数があることを理解している。</li> </ul>	
<p>分数のたし算、ひき算</p>		<p>⑥⑦簡単な分数の加法の計算のしかたを理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1/5+2/5のような、同分母の真分数の加法の計算のしかたを考える。</li> <li>・7/10+3/10=10/10のような、和が1になる加法の計算のしかたを考える。</li> </ul> <p><b>【算数のミカタ】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい計算のしかたを考えるとき、1/5をもとにして、1/5が(1+2)個という見方をしたことを振り返る。</li> </ul>	2	<p><b>【知技】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・同分母の分数の加法の意味を理解し、真分数の加法の計算ができる。</li> </ul> <p><b>【思判表】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・同分母の分数の加法、減法の計算のしかたを、既習の計算や分数の意味をもとに図や式などを用いて考えている。(⑥～⑧が同評価規準)</li> </ul>	



		<p>⑧簡単な分数の減法の計算のしかたを理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<math>4/5 - 2/5</math> のような、同分母の真分数の減法の計算のしかたを考える。</li> <li>・<math>1 - 3/10 = 7/10</math> のような、1 から真分数をひく減法の計算のしかたを考える。</li> </ul>	1	<p><b>【知技】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・同分母の分数の減法の意味を理解し、真分数の減法の計算ができる。</li> </ul>	
	学んだことを使おう	<p>⑨等幅の直線を使ってテープに分数の目盛りをつける活動とおして、量分数の意味について理解を深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「<math>1/5\text{m}</math>は何cmか調べよう！」という目的意識から、同じ幅に並んだ直線を使って1mの長さのテープに<math>1/5\text{m}</math>ずつの目盛りをつける方法を考え、<math>1/5\text{m}</math>は20cmになることを確かめる。</li> </ul> <p>[センスアップ]*</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<math>1/2\text{m}</math>, <math>1/3\text{m}</math>, <math>1/4\text{m}</math>, ...の紙テープを順に並び、単位分数の分母が大きくなると1つ分の大きさが小さくなることに着目する。</li> </ul>	1	<p><b>【思判表】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・同じ幅に並んだ線を使って1mの長さのテープに分数の目盛りをつけるしかたについて、分数の意味と表し方をもとに考えている。</li> </ul>	
	まとめ	<p>⑩学習内容の理解を確認し、確実に身につける。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単元のまとめをする。</li> </ul>	1	<p><b>【知技】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習内容を理解し、基本的な問題を解決することができる。</li> </ul> <p><b>【思判表】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「分数」の学習のよさや見方・考え方を振り返っている。</li> </ul>	
	<p>13 三角形 【9】</p> <p>いろいろな三角形</p>	<p>①②二等辺三角形、正三角形の意味を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「どんな三角形ができるかな？」の活動をきっかけに、4種類のストローを使ってできた三角形に関心をもつ。</li> <li>・4種類のストローを使っていろいろな三角形を作り、辺の長さに着目して分類し、二等辺三角形、正三角形について知る。</li> </ul>	2	<p><b>【知技】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・二等辺三角形、正三角形の意味を理解している。</li> </ul> <p><b>【態】</b> 単元全体を通じて評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・二等辺三角形、正三角形の特徴を調べたり、構成したりすることに主体的に取り組むとともに、身のまわりから図形を見つけようとしていたり、二等辺三角形や正三角形を敷き詰める活動とおして、平面図形の広がりや図形の美しさを感じたりしている。</li> </ul> <p><b>【思判表】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・三角形について、辺の長さの相等関係に着目して分類し、それらの特徴を見いだしている。(①～⑤が同評価規準)</li> </ul>	<p>2年 9 三角形と四角形</p> <p>3年 9 円と球</p> <p>4年 4 角 7 垂直・平行と四角形</p>
12 (15)	(二等辺三角形、正三角形のかき方)	<p>[二等辺三角形、正三角形さがし]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身のまわりから二等辺三角形や正三角形のものを見つける。</li> </ul> <p>③二等辺三角形の性質と構成要素について理解を深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ドットの図を使って、あと1点をどこにとると二等辺三角形になるかを考え、作図する。</li> </ul>	1	<p><b>【知技】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ドットの図を使って、二等辺三角形を作図することができる。</li> </ul> <p><b>【思判表】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・二等辺三角形や正三角形の定義をもとに、それらの図形を作図のしかたを考えている。(③④が同評価規準)</li> </ul>	
		<p>④二等辺三角形、正三角形の作図のしかたを理解する。★</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定規とコンパスを使って、二等辺三角形の作図のしかたを考える。</li> <li>・二等辺三角形の作図のしかたをもとに、正三角形の作図のしかたを考える。</li> </ul>	1	<p><b>【知技】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定規とコンパスを使って、二等辺三角形、正三角形を作図することができる。</li> </ul>	

	(三角形づくり)	⑤二等辺三角形, 正三角形の辺の相等について理解を深める。 ・円の半径を使って三角形を作図し, 二等辺三角形や正三角形ができることを説明する。 ・折り紙を使って二等辺三角形や正三角形を作り, その方法について説明する。	1	<b>【思判表】</b> ・円の半径や折り紙を使った二等辺三角形や正三角形の構成のしかたについて, 図形の性質をもとに説明している。	★まなびリンク 動画「二等辺三角形のかき方(右きき)(左きき)」
	角	⑥図形の角の意味, 性質を理解する。 ・三角定規のかどの大きさを比べることをとおして, 角の意味, 角の大きさについて知る。	1	<b>【知技】</b> ・角の意味を理解し, 2つの角の大きさを重ねるなどして比べることができる。 <b>【思判表】</b> ・二等辺三角形や正三角形の定義をもとに, それらの図形の作図のしかたを考えている。 (⑥⑦が同評価規準)	
		⑦二等辺三角形, 正三角形の角の相等について理解する。 ・角を重ね合わせて比べることをとおして, 二等辺三角形は2つの角の大きさが等しく, 正三角形は3つの角の大きさが等しくなっていることを知る。  [算数のミカタ] ・図形の特徴を調べるとき, 辺の長さや角の大きさに着目したことを振り返る。	1	<b>【知技】</b> ・二等辺三角形では2つの角の大きさが等しく, 正三角形では3つの角の大きさが等しいことを理解している。	
	学んだことを使おう	⑧敷き詰め模様構成の観察をとおして, 平面図形の広がりや図形の美しさを捉え, 図形についての感覚を豊かにする。 ・「三角形でもようを作ろう!」という目的意識から, 二等辺三角形や正三角形を敷き詰めた模様を作る。  [三角定規で形を作ろう] ・同じ大きさの三角定規を何枚か組み合わせて, 罟形や大きな正三角形を作る方法を考える。	1	<b>【思判表】</b> ・二等辺三角形や正三角形を敷き詰めた図の中にはほかの図形を認めたり, 平面図形の広がりや図形の美しさに気づいたりして表現している。	
	まとめ	⑨学習内容の理解を確認し, 確実に身につける。 ・単元のまとめをする。	1	<b>【知技】</b> ・学習内容を理解し, 基本的な問題を解決することができる。 <b>【思判表】</b> ・「三角形」の学習のよさや見方・考え方を振り返っている。	
	■タイルは何まい	⑩正三角形の敷き詰め模様からほかの図形を見だし, その図形をまとまりとして捉え, 乗法の式を用いて正三角形の枚数を表すことができる。 ・規則的に並んだ正三角形のタイルの枚数の求め方を, $8 \times 3$ , $4 \times 6$ , …など, いろいろな式で考える。	1	<b>【思判表】</b> ・規則的に並んだタイルの枚数を工夫して数えることをとおして, 図形, 数, 式の多様な見方を見いだしている。	
	◎ふくしゅう④ 【1】 ※ +1	・「あまりのあるわり算」「10000より大きい数」「円と球」「かけ算の筆算」の復習をする。	1		

	<b>14 小数【12】</b> <b>※ +1</b>  <b>小数の表し方</b>	①小数の意味と表し方、「小数」「小数点」「整数」の意味を理解する。 ・「水のかさは何Lかな？」の活動をきっかけに、1Lに満たない端数部分のかさの表し方に関心をもつ。 ・1Lの1/10の大きさを0.1Lということを知り、小数の意味、表し方を知る。 ・「小数」「小数点」「整数」の意味を知る。  [小数さがし] ・身のまわりから小数で表されているものを見つける。	1	<b>【知技】</b> ・小数の意味と表し方、構成、及び整数の意味を理解している。 <b>【態】</b> 単元全体を通じて評価する。 ・既習の数の見方や表し方などをもとに、小数の意味と表し方、計算のしかたについて主体的に考えたり、身のまわりから小数が用いられる場面を見つけたりしようとしている。 <b>【思判表】</b> ・小数の意味や大きさ、小数と整数、分数の関係について、数直線や図に表すなどして考えている。(①～⑤が同評価規準)	<b>【2年】</b> 17 1を分けて
		②長さを小数で表すことをとおして、小数の構成や表し方についての理解を深める。 ・3cm7mmを3.7cmと表すように、複名数で表された長さを小数を用いて単名数で表すしかたを考える。	1	<b>【知技】</b> ・複名数で表された長さなどの量を、小数を用いて単名数で表すことができる。	<b>【3年】</b> 12 分数 8 10000より大きい数
1 (10)	<b>小数のたし算、ひき算</b>	③小数の構成、相対的な大きさ、小数の位取り(1/10の位)、小数と整数の関係について理解する。 ・数直線上に小数を表したり、2.4と24の関係などを調べたりする。 ・小数の位取り(1/10の位、小数第一位)の意味を知る。 ・0.1、1、10、100の関係を調べ、10倍、1/10の関係になっていることを知る。	1	<b>【知技】</b> ・十進位取り記数法をもとに小数の位取り(1/10の位または小数第一位)を理解するとともに、小数と整数の関係について理解している。	<b>【4年】</b> 11 小数のしくみとたし算、ひき算  15 小数と整数のかけ算、わり算
		④数の大小比較をとおして、小数と整数の関係について理解を深める。 ・2.8と3の大小比較のしかたを考え、説明する。	1	<b>【知技】</b> ・小数と整数の大小を理解している。	
		⑤小数と分数の関係について理解を深める。 ・小数と分数を1つの数直線上に表す。 ・0.6と7/10の大小比較のしかたを考え、説明する。	1	<b>【知技】</b> ・小数と分数の大小を理解している。	
		⑥繰り上がりのない小数の加法の計算のしかたを理解する。 ・2.5+1.3のような、繰り上がりのない小数の加法の計算のしかたを考える。	1	<b>【知技】</b> ・小数の加法の意味を理解し、繰り上がりのない小数の加法の計算ができる。 <b>【思判表】</b> ・小数の加法及び減法の計算のしかたを、整数の計算のしかたなどと関連づけて考えている。(⑥～⑩が同評価規準)	
		⑦繰り上がりのある小数の加法の計算のしかたを理解し、筆算ができる。 ・2.6+1.7のような、整数部分へ繰り上がる加法の計算のしかたを考え、筆算のしかたをまとめる。	1	<b>【知技】</b> ・小数の加法の筆算形式を知り、繰り上がりのある小数の加法の筆算ができる。	
		⑧小数の加法で答えが整数になる場合や、整数と小数の加法の計算ができる。 ・1.4+2.6のような、答えの小数部分が0になる加法の計算のしかたを考える。 ・35+4.8のような、整数+小数の加法の計算のしかたを考える。	1	<b>【知技】</b> ・小数の加法で答えが整数になる場合や、整数と小数の加法の筆算ができる。	

		<p>⑨繰り下がりのない小数の減法の計算のしかたを理解する。 ・2.5-1.3のような、繰り下がりのない小数の減法の計算のしかたを考える。</p>	1	<p><b>【知技】</b> ・小数の減法の意味を理解し、繰り下がりのない小数の減法の計算ができる。</p>	
		<p>⑩繰り下がりのある小数の減法の計算のしかたを理解し、筆算ができる。また、整数と小数の減法の計算ができる。 ・3.2-1.8のような、整数部分から繰り下がる減法の計算のしかたを考え、筆算のしかたをまとめる。 ・3-0.6のような、整数-小数の減法の計算のしかたを考える。</p>	1	<p><b>【知技】</b> ・小数の減法の筆算形式を知り、繰り下がりのある小数の減法や、整数と小数の減法の筆算ができる。</p>	
	まとめ	<p>⑪⑫学習内容の理解を確認し、確実に身につける。 ・単元のまとめをする。</p>	2	<p><b>【知技】</b> ・学習内容を理解し、基本的な問題を解決することができる。 <b>【思判表】</b> ・「小数」の学習のよさや見方・考え方を振り返っている。</p>	
	◎ふくしゅう⑤ 【1】 ※ +1	<p>・「重さ」「分数」「三角形」の復習をする。 ・単元15「2けたの数のかけ算」に関わる既習事項を確認する。</p>	1		
2 (15)	■オリンピックにちようせん	<p>①時間や長さの量感を豊かにする。 ・オリンピック記録の時間や長さを、自分にとって実感がもてる量に置きかえて捉える。</p>	1	<p><b>【知技】</b> ・時間や長さなどの量の大きさについて豊かな感覚をもっている。</p>	<p>2年 10 かけ算 11 かけ算づくり 13 九九の表</p>
	15 2けたの数のかけ算 【11】※ +1  (何十をかける計算)	<p>①②1位数×何十、2位数×何十の計算のしかたを理解する。 ・「キャップは何こひつよう？」の活動をきっかけに、4×3や4×10のような既習の計算を振り返るとともに、未習の問題に取り組むことに興味をもつ。 ・4×30のような、何×何十の乗法の計算のしかたを考える。 ・12×30のような、何十×何十の乗法の計算や、40×30のような、何十×何十の乗法の計算のしかたを考える。</p>	2	<p><b>【知技】</b> ・乗数を10倍すると積も10倍になる関係を理解し、1位数×何十、2位数×何十の計算ができる。 <b>【態】</b> 単元全体を通じて評価する。 ・乗法の計算のしかたについて、既習の計算などをもとに主体的に考えたり、乗法を生活や学習に活用しようとしていたりしている。 <b>【思判表】</b> ・何十をかける乗法の計算のしかたを、10をもとにしたり、乗法に関して成り立つ性質を活用したりして考えている。</p>	<p>3年 1 かけ算のきまり ●かけ算とわり算の図 10 かけ算の筆算</p>
	(2けた×2けたの計算)	<p>③④2位数×2位数=3位数の乗法の計算のしかたを理解し、筆算ができる。 ・12×23のような、2位数×2位数の乗法の計算のしかたを考え、筆算のしかたをまとめる。</p>	2	<p><b>【知技】</b> ・2位数×2位数=3位数の乗法の計算のしかたを理解し、筆算ができる。 <b>【思判表】</b> ・2位数×2位数の乗法の計算のしかたを、既習の計算をもとに図や式などを用いて考えている。③～⑥が同評価規準</p>	<p>4年 1 大きな数 15 小数の整数のかけ算、わり算</p>

	⑤2位数×2位数で、部分積が3桁になる乗法の計算ができる。 ・39×75のような、部分積が3桁になる乗法の計算のしかたを考える。	1	<b>【知技】</b> ・2位数×2位数で、部分積が3桁になる乗法の筆算ができる。
(計算のくふう)	⑥被乗数や乗数に空位がある場合について、乗法の筆算の工夫のしかたを理解する。 ・28×30を、通常の計算のしかたと、省略するしかたで計算をして比べる。 ・40×36と36×40の計算のしかたを比べる。	1	<b>【知技】</b> ・乗法の筆算の工夫のしかたを理解している。
(3けた×2けたの計算)	⑦3位数×2位数=4位数の乗法の計算ができる。 ・218×34のような、3位数×2位数の乗法の計算のしかたを考える。	1	<b>【知技】</b> ・3位数×2位数=4位数の乗法の筆算ができる。 <b>【思判表】</b> ・3位数×2位数の乗法の計算のしかたを、被乗数が2位数の場合の計算をもとに考えている。(⑦⑧が同評価規準)
	⑧3位数×2位数=5位数の乗法の計算ができる。 ・576×38のような、答えが5位数になる乗法の計算のしかたを考える。 ・304×52のような十の位に空位のある乗法の計算のしかたを考える。	1	<b>【知技】</b> ・3位数×2位数=5位数の乗法の筆算ができる。
学んだことを使おう	⑨日常生活の場面と関連づけて、乗法の計算を活用することができる。 ・「校しゃの高さを調べよう！」という目的意識から、必要な情報を選択して校舎の高さを求め、その求め方について説明する。	1	<b>【思判表】</b> ・校舎の高さを求めるのに必要な情報を判断し、乗法を用いて解決するしかたを考え説明している。
まとめ	⑩⑪学習内容の理解を確認し、確実に身につける。 ・単元のまとめをする。	2	<b>【知技】</b> ・学習内容を理解し、基本的な問題を解決することができる。 <b>【思判表】</b> ・「2けたの数のかけ算」の学習のよさや見方・考え方を振り返っている。

16 □を使った式と図【5】	①加法や減法の場面において、未知の数量を□として式に表し、□にあてはまる数を求めることができる。 ・「お話を式に表そう！」の活動をきっかけに、買い物場面を線分図や式に表すことに興味をもつ。 ・線分図や言葉の式をもとに、未知の数量を□として減法の式に表し、□にあてはまる数の求め方を考える。	1	<b>【知技】</b> ・未知の数量を□とすることにより、数量の関係を式で表せることを理解し、加法や減法の場面において、□を用いて式に表し、□にあてはまる数を求めることができる。 <b>【態】</b> 単元全体を通じて評価する。 ・未知の数量を□として表すことで、問題場面どおりに立式できるよさに気づき、式に表したり式をよんだりすることに主体的に取り組もうとしている。 <b>【思判表】</b> ・□を用いた式と図を関連づけて、式が表している場面の意味をよみ取っている。(①～④が同評価規準)	<b>【2年】</b> 3 たし算 4 ひき算 ●たし算とひき算の図 7 たし算とひき算 10 かけ算 11 かけ算九九づくり 16 図をつかって考えよう  <b>【3年】</b> 1 かけ算 4 わり算 7 あまりのあるわり算 ●かけ算とわり算の図  <b>【4年】</b> 8 式と計算 12 変わり方
	②□にあてはまる数を求めることをとおして、加法と減法の相互関係を理解する。 ・加法や減法の場面を□を用いた式に表し、図をもとに□にあてはまる数を求め、加法と減法の相互関係についてまとめる。	1	<b>【知技】</b> ・加法と減法の相互関係を理解している。	
	③乗法と除法の場面において、未知の数量を□として式に表し、□にあてはまる数を求めることができる。 ・あめの代金を求める場面で、数直線や言葉の式をもとに、未知の数量を□として乗法の式に表し、□にあてはまる数の求め方を考える。	1	<b>【知技】</b> ・乗法や除法の場面において、□を用いて式に表し、□にあてはまる数を求めることができる。	
	④□にあてはまる数を求めることをとおして、乗法と除法の相互関係を理解する。 ・乗法や除法の場面を□を用いた式に表し、図をもとに□にあてはまる数を求め、乗法と除法の相互関係についてまとめる。	1	<b>【知技】</b> ・乗法と除法の相互関係を理解している。	
まとめ	⑤学習内容の理解を確認し、確実に身につける。 ・単元のまとめをする。  [倍の計算と、□を使った式] ・倍を求める除法の式を振り返り、12 cmは4 cmの何倍かを求める式が $12 \div 4$ になる理由を、 $4 \times \square = 12$ という□を用いた乗法の式をもとに説明する。	1	<b>【知技】</b> ・学習内容を理解し、基本的な問題を解決することができる。 <b>【思判表】</b> ・「□を使った式と図」の学習のよさや見方・考え方を振り返っている。	
◎ふくしゅう⑥ 【1】 ※ +1	・「小数」「2けたの数のかけ算」「倍の計算」の復習をする。	1		

3 (10)	17 そろばん 【3】 (そろばんの数の表 し方)	①そろばんの各部の名称、しくみ、数の表し方について理解する。★ ・そろばんのしくみを知り、十進位取り記数法による数の表し方と対 比しながら、そろばんでの数の表し方を知る。 ・そろばんの数の入れ方、はらい方を知る。	1	【知技】 ・そろばんのしくみと、 数の入れ方、はらい方 を理解し、そろばんを 使って数を表すことが できる。 【態】単元全体を通じて 評価する。 ・そろばんのしくみに関 心をもち、数を表した り計算したりすること に主体的に取り組もう としている。 【思判表】 ・そろばんのしくみに着 目し、数の表し方及び 加法、減法の計算のし かたを考えている。 (3時間同評価規準)	4年 14 そろばん ★まなびリンク シミュレーシ ョン「そろば んツール」
	(そろばんの計算)	②そろばんを使って、簡単な1位数や2位数の加減計算ができる。 ・基本的な加法、減法の珠の動かし方を知る。 ・ $31+58$ , $89-58$ , $4+3$ , $7-3$ , $4+7$ , $11-7$ のような、簡単な加 減計算のしかたを知る。	1	【知技】 ・そろばんによる加法及 び減法の計算のしかた を理解し、簡単な1位 数や2位数の加減計算 ができる。	★まなびリンク 資料「そろば ん学習につい てのページ (日本珠算連 盟)」
		③そろばんを使って、何万や小数の加減計算ができる。 ・ $3万+5万$ や $10万-2万$ のような何万の加減計算, $2.3+0.6$ や $1.1$ $-0.8$ のような簡単な小数の加減計算のしかたを知る。  【日本のそろばん】★ ・そろばんの歴史や産地について知る。	1	【知技】 ・そろばんを使って、何 万や小数の加減計算が できる。	
	■カレンダーを調べ よう	①規則的に並んだ数のきまりを筋道立てて考え解決することをとお して、論理的な思考力を伸ばす。 ・カレンダーで3つ並んだ数の和を考察して、きまりを見つける。	1	【思判表】 ・規則的に並んだ数のき まりを筋道を立てて考 えている。	
	●算数を使って考え よう (給食調べ)	①②知識・技能等を活用し、課題解決のための構想を立て、筋道を立 てて考えたり、数学的に表現したりすることができる。 ・給食アンケートをまとめた表やグラフをもとに、「すきなメニュー 調べ」の結果からよみ取れることを考え、説明する。	1	【態】単元全体を通じて 評価する。 ・数量や図形に進んで関 わり、数学的に表現・ 処理したことを振り返 り、数理的な処理のよ さに気づき生活や学習 に活用しようとしてい る。 【思判表】 ・表やグラフを用いて表 されたデータをよみ取 ったり、その根拠につ いてデータをもとに説 明したりするなど、算 数の学習を活用して考 え表現している。	

	(本だな)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部屋の図をもとに、ドアを開くときに動く範囲を考え、どの本棚を置けばよいかを説明する。</li> </ul>	1	<p><b>【思判表】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日常の場面から算数の問題を見だし、長さや円などの学習を活用して解決したり、言葉や図、式などを用いて説明したりするなど、算数の学習を活用して考え表現している。</li> </ul>	
	◎3年のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>①②③④第3学年の学習内容の問題を解決することができる。</li> <li>・数と計算, 図形, はかり方, 表とグラフについての問題に取り組む。</li> </ul>	4	<p><b>【思判表】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第3学年の学習内容について、知識及び技能を身につけている。</li> </ul> <p><b>【態】</b> 単元全体を通じて評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第3学年で学習した基本的な問題について、それらが確実に身につくように取り組もうとしている。</li> </ul>	